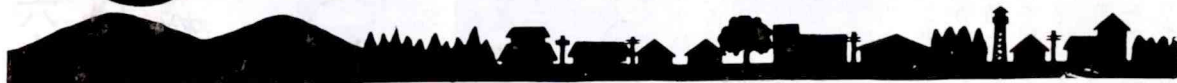


広報たしろ

No. 413

昭和63年 1月号



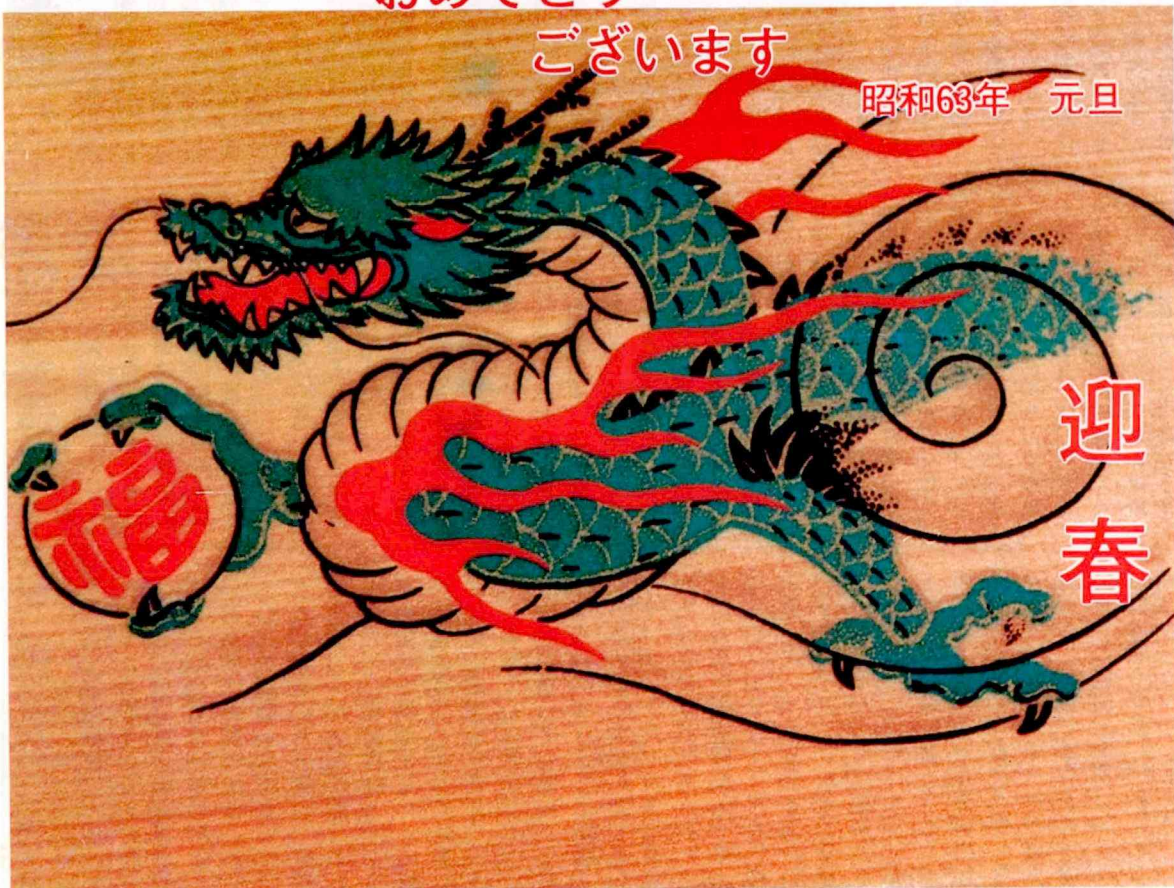
田代町企画管財課

あけまして
おめでとう

ございます

昭和63年 元旦

迎春



人口のうごき

昭和 62 年 12 月 1 日現在

住 民 基 本 台 帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,938	2	1	3	1	△1
女	2,155	1	1	1	4	△3
計	4,093	3	2	4	5	△4
世帯数	1,442					0

辰は、十二支の中で唯一の空想の動物です。でも念のため、動物図鑑を見たら、辰は竜として載っていました。天蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物」とあります。辰は、十二支の仲間として広く知られた存在なので架空の動物の中でも別格で「竜虎あい撃つ」ともいわれますから竜は虎とは互角のよう強いものとされています。さて皆様は、この新年をどんな決意でお迎えになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものです。

今年は辰年

明けましておめでとうございます。
輝かしい年頭にあたり、町民皆様の御健康と御発展を心からお祝い申し上げます。
昨年は、竹下内閣の誕生、国の財政再建、行政改革、税制の抜本的改革問題など、又国際的には、大幅な貿易黒字に基く貿易の不均衡は農産物の貿易自由化へ責任転嫁のめがかりとなり我が国農政の後退が心配され、まことに多事多難に明け暮れ、難題が解決されぬままに今年に持越されることになりました。国は昨年の実質経済成長率三・五パーセントと発表されていますが、私達農村ではそれは全く異なる現状であります。わが町においてても統一地方選挙により町議会も新しい構成となり、



年頭のあいさつ
議会議長 宮原 貢

過疎化、高齢化と本町をとりまく情勢の厳しいなかで町議会は町民の心情と町の現状を的確に把握し、洞察する不断の努力を使命とし初心としながら、さまざまな課題に取り組んでまいりました。
町民の皆様のご要望も多様化してまいっており、緊縮財政状況のなかでは適切な選択が一層重要になってまいります。高校跡地利用の対応については重要な課題として色々努力を続けています。多角的に検討し対処していかねばなりません。
又昨年十一月元町長原順殿が逝去され町民こぞして生前のご遺徳を偲びお別れをいたしました。今日農政混迷のなか町民の総力をもって町づくり自立決起のとき先達者を失ったことを大変残念に思い、ただご冥福をお祈りするのみであります。
六十二年年度の農畜産物については、本町の基幹作物である煙草がやや目標を下廻りしましたが、お茶、園芸等は台風の影響からまぬがれまして生産目標が達成されました。早期水稲は収穫直前になっていまだ経験されないウンカの異

常発生で一部の地域で大きな被害があり減収となりましたが、畜産については仔牛の市場価格の高値がつづき又、ブローラーについても生産性の向上によりそれぞれ前年比百二十パーセントの好実績でありましたが、早期水稲を除きほとんどの生産目標を達成できませんでしたことは何と申ししても農家皆様の大変なご努力による成果であります。
今、農家経営が問われている時だけに一層その目標達成をたたえたいと思います。
道路整備について、国道表木・新田間の改良工事と新田トンネル工事が六十四年三月には完通することになります。本町の幹線道ゆえに町内の交通効率が一段と進むことになると考えます。又、町営簡易水道も施設の老朽化のため改良工事が六十四年二月末の期限で着工されましたが道路にそった布設工事であり、また、地域の皆様の通行については特にご協力いただきましたと考へます。
昨年より肝属南部国営総合農用地開発事業も着工されましたが本事業による畑地かんがい排水施設にわたる農地整備の有効利用を期待できるもの

田代町消防出初式

1月6日 午前10時

田代小学校 校庭

と考へます。
本年も振興計画に基いて諸事業を実施し着実な成果を挙げねばならない事はいうまでもありませんが、町の目標に掲げた「豊かな明るい町づくり」の実現のためには意欲的行政の施策実践のもとに町民皆様のご協力を求めています。最後に昭和六十三年の町民皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

89回高山木材共販相場表 TEL (0994) 65 5 2 3 4 昭和 62 年 12 月 15 日市

長 級	径 級	ス					ギ					ヒ					ノ					平均単価
		主		伐		材	間伐材	主		伐		材	間伐材	主		伐		材	間伐材			
		曲	安	中	高			直	曲	安	中			高	直	曲	安			中	高	
40	3 ~ 10		15,500		16,000	15,500		14,000	16,000	18,000	14,000		14,000	16,000	18,000	14,000					2 0 4 0 0	
	11 ~ 13		18,000	19,500	21,000	18,000		20,000	28,000	35,000	20,000		20,000	28,000	35,000	20,000						
	14 ~ 16		19,000	20,000	22,000	19,000		30,000	40,000	50,000	30,000		30,000	40,000	50,000	30,000						
	18 ~ 22		20,500	21,500	24,000	20,500		30,000	45,000	70,000			30,000	45,000	70,000							
30	3 ~ 10		9,000	10,500	12,000	9,000		8,000	9,000	10,000	8,000		8,000	9,000	10,000	8,000					1 3 0 0 0	
	11 ~ 13		15,000	16,000	18,000	15,000		18,000	16,000	20,000	13,000		18,000	16,000	20,000	13,000						
	14 ~ 16		19,000	20,000	23,000	19,000		30,000	40,000	50,000	30,000		30,000	40,000	50,000	30,000						
	18 ~ 22		20,000	21,000	25,000	20,000		30,000	50,000	70,000			30,000	50,000	70,000							

昭和六十三年を飛躍の年に

新年のあいさつ

町長 松田 進



町民の皆様、故郷を離れ遠く異郷の地でお暮しの皆様、新年おめでとうございます。
輝かしい昭和六十三年の年頭にあたり町民の皆様御健康と御発展を心からお祝い申し上げます。昨年中は、町議会をはじめ、町内各種機関、団体ならびに町民の方々の積極的なご指導とご協力を賜りましたことに衷心から厚くお礼を申し上げます。
私が町政を担当するようになりましてから二年有余、日本の内外の情勢が厳しいなか町民の皆様御期待と信頼にこたえるべく全力を尽して町政を遂行していく覚悟です。
顧みますと、昨年は、台風の直撃もなく比較的平穏な年であり、本町の基幹作物で

る茶、たばこ、園芸作物は平年作でした。早期水稲においては、ウンカ類の大発生により減収をきたしました。肉用牛は価格が高騰し、農畜林産物の総生産額三十五億一千五百三十一万円で前年に対し九・八パーセントの増加でした。町内の景気は、一部に明るさがみられるものの全体としては依然として足踏状態が続いているのが現状であります。しかしながら各作目についても根気よく続けていくことが個々の所得の増大につながるべく思っています。
村づくり一品運動の推進も皆様方の積極的な取り組みによりまして着実に進んでいますが、キヌサヤエンドウにおきましては、今年最高の一キログラム当り三千五百円の高値で取り引きされました。柿も初出荷で他の産地に負けない自信ができて参りました。このような事業は一朝一夕にして成果がみられるものではありません。これから一層自立自興の精神を本町の村おこし運動として発展させなくてはならないと考へます。更に肝属南部国営総合農用地

開発も本年度から事業が実施されることになり、鶴岡、長野、重岳、久木野地区における畜産基地建設事業も着々進み、農村基盤総合整備事業による大原地区の圃場整備や農道整備も順調に進んでいるところでありまます。
又、本年度から農村地域農業構造改善事業(自然活用型)が花瀬地区を主体として、基準事業費約三億円で農業と観光を結びつけた事業を実施し地域住民の所得の向上をはかりたいと考へています。
更に国道四四八号線新田トンネルの掘削工事、改良舗装工事最新の技術をもって事故もなく着々と進捗し、又、県道根占港、辺塚線の上原、原沢間も順調に工事が進められていきますことは誠に有難く、県に對し深甚な敬意を表します。その外町内全域に各種事業を導入し生産基盤の整備を押し進めながら経営規模の拡大による町民所得の増大等をはかっていきたい。
生活環境の整備ですが、長い間中央地区簡易水道を利用してはいる皆様方には、断水等で大変ご迷惑をかけて参りましたが、今年から二ヶ年継続事業で総事業費約四億円で改

修することになり十月着工しました。更に、町民福祉の向上、商工業の振興、心身ともに健全な青少年のための教育の振興、県立南大隅高等学校田代分校の跡地利用の解決、道路基盤の整備等山積したいろいろな問題がありますが、これが実現のため議会、町民の皆様方の絶大なご協力のもとに二十一世紀に向けてより良い田代を創造するために町民各位の英知と活力を結集し、田代町の未来像を考へ、「活力に満ちた心の豊かな町づくり」を目指して「昭和六十三年を飛躍の年」として頑張って行きたいとお願いいたします。更にまた、良き指導者ならびに助言者であられた、元町長原順殿が昨年十一月二十八日ご逝去・十二月八日準町葬をもって告別式を執り行いました。ここに町民の皆様方と共に心からご冥福をお祈りしたいと思ひます。以上いろいろ申し述べましたが町民ひとりひとりが幸福になることが町の発展の基礎になります。昭和六十三年が最も輝やかしい年でありまますと同時に、ご健勝で幸多い年となりますよう念願して新年のごあいさつといたします。

昭和62年度 第4次自衛官募集

- 募集期間 ~ (1)男子 昭和63年1月1日から昭和63年3月31日まで
- 応募資格 ~ 採用予定月の1日現在で18歳以上25歳未満の日本国籍を有する者で、学校教育法に定める中学校卒業以上の学力を有し、かつ自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者。
- 試験科目 ~ 筆記試験(国語(作文を含む)、数学、社会)、身体検査、適性検査及び口述試験
- 書類の請求・問合せ ~ 役場総務課、(5-2511)自衛官募集事務所まで (0994-42-4386)



福留 清美

明日へ はばたけ 若者たち 成人おめでとう



中村 文作

私は、今まで過ごしてきた二十年間を振り返ってみて、楽しいことばかりではなかったし、苦しい事、悲しい事も沢山体験してきました。高校卒業と同時にこの町に残り農協に勤務してもらう二二年になります。就職して一番最初に身にしてみて感じた事が、上司との対応の難しさでした。学生時代は、一つ、二つ上の先輩方だったのが就職して社会人ともなれば、自分の年齢より二倍

後悔しない人生を進んで！ 福留 清美

三倍の方との対応が必要になります。私の場合、農協に勤めている関係上、農家の方々との対応もかかせません。就職一年目は、「まだ一年目だから」って大目にみてもらえてるけど、二年目ともなれば、「もう、二年目なのだから」って失敗も許されません。農協へ入って半年ぐらい過ぎた頃、農家の方にすごい剣幕で怒られたことがありました。このことがあってから、仕事の難しさがわかりました。

自分中心には、この世の中はまわってくれないのだなとつくづく思いました。今でもまだ、自分の仕事に百点満点をつけられる程自身はもてません。就職した頃の気持ち忘れずに今からも続けていきたいと思っています。これから、いろんな障害にぶつかるとは思いますが、成人を向かえたこれからが勝負の時だと思っています。今までの人生をステップに二十歳というこの時を無駄にしないように、後悔のない人生を進んでいきたいと思っています。

側枝は主枝、亜主枝の元から先までまんべんなくつけ二股にわけないよう一筋につくあげます。結果母枝のせん定。西村早生は、結果母枝の先端から七芽ぐらいまで花芽です。従って間引せん定が主体となります。切りかえしせん定は、樹づくり段階での主枝、亜主枝の先端部また下垂した側枝の更新か予備枝をつくる時にします。西村早生の優良結果母枝は春枝できちんととまったものです。母枝を残す間隔は三十アールぐらいをめやすとします。

満足いく妥協のない

自負できる人生を！

中村 文作

光陰矢のごとく、早いもので私ももう二十歳になり成人の仲間入りとなりました。二十歳という年齢は、社会人もいれば学生もいるし、すでに結婚している方もまれにいます。世間から見ると大人のようであつたり、子供のようであつたりどっちつかずの状況です。すでに社会人の方は、経済的にも両親から独立し、現実の厳しさに突きあたり仕事に悪戦苦闘していることとありますが、自分はまだ学生

した。だから、この人生の中でもっとも大きな節目の年を契機に成人としての自覚をもちいざとなれば両親に頼ることができるとなどという甘い考えを捨てたいと思います。そして将来自分の人生を振り返り、満足のか自負できるような人生にしていきたいと思っています。そのために、この二十年間両親や先生、先輩方のご指導や忠告をもとにこれから人生を切り開いていきたいと思ひますので今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

むらづくり一品運動

柿

※整枝・せん定

柿の目標樹形は、開心自然形ですが若木時代は主幹形ですみ、樹勢のおちつきをはかりながら変則主幹形（四、六年）として芯抜きしながらさらに開心形にもってゆく方法が適切です。幼木期は骨格形成期であり、主枝先端は外芽か横芽で必ず切り主枝（亜主枝）の伸長を妨げる強い枝を除きます。側枝のせん定。側枝は主枝、亜主枝の元から先までまんべんなくつけ二股にわけないよう一筋につくあげます。

故原順元町長の準町葬が執り行なわれる

つつしんで故人の御冥福をお祈りします

原順氏は、去る十一月二十八日午後〇時八分、肺癌のため、入院先の鹿児島市の南風病院で死去されました。町は葬儀委員会を編成し、昭和十二年から村議会議員、町長三期と町発展のために御尽力され多くの町民に親しまれてきた同氏の功績を報いるため、準町葬の礼をもって葬儀を行い、町民一同で故人の冥福を祈ろうと十二月六日田代町開発センターで準町葬を行います。



故原順氏の経歴

大正三年七月四日生まれ（満七十三歳）、昭和十三年三月日本大学専門部工科電気科卒業、昭和十三年四月から株式会社播馬造船所に勤務同所を退職後、東京電灯株式会社、九州配電株式会社へ転職、昭和二十二年四月田代村議会議員に初当選、昭和三十三年五月まで十五年二月、この間田代町農業協同組合長、根占地区たばこ耕作組合長も兼任、昭和三十七年六月から昭和四十九年六月まで田代町長三期（十二年間）、町長勇退後、昭和五十年十月から昭和五十八年十月まで鹿児島県監査委員を歴任し、多大な功績を残された。



焼香する参列者

湯ノ谷義雄氏

勲六等旭日章受賞

湯ノ谷義雄氏は、村議会議員五期を務めるなど町政に参画され、その他、田代町農業協同組合理事、同組合長、田代町農業共済組合理事、麓土地改良区理事長等の要職に就きいかんなくその手腕を発揮された功績で叙勲を受けられたものです。



叙勲を受けられた湯ノ谷義雄氏

叙勲の光栄に浴して

この秋の叙勲で栄ある勲章を頂き身に余る光栄です。これは、全く町民の皆様のご支援の賜で感謝の念で一杯です。これからもよろしくお願ひしますと湯ノ谷義雄さんの感謝のことがありました。

特設人権法律

相談所 開設

あなたの身のまわりに理由なく無理を強いられたり、人権を無視されたりして悩んでおられる人はありませんか？

また婚姻（内縁）、離婚、扶養、相続、土地建物問題、登記関係、借地借家、金銭貸借、売買、交通事故問題、近隣関係、いじめ問題、公害問題、その他法律上の問題で困っておられる方はご遠慮なくお越し下さい。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時 昭和62年1月18日

午前10時から午後3時まで

場所 老人福祉センター

正しく使おう110番 1月10日は「110番の日」

★あなたが110番されている間に、パトカーは現場に急行しています。110番は、鹿児島市の県警通信指令室で複数の警察官が受けています。派出所やパトカーの警察官に指令、手配して、すばやく現場にむかわせます。

★皆さんの安全を守る110番

犯人の逃げ道をふさぐには、すこしでも早く110番。これが、犯人を早くつかまえるコツです。

★昭和61年の110番件数は、県下で38,364件でした。全国では、9秒に1件、つまり国民35人に1人の方が利用されたことになります。

★いたずら電話は、困ります。いたずら電話のために、本当に警察の力を必要とされている方が困ることになります。

110番 ただちに！
あわてず！ はっきりと！



新年を寿す皆様方のご健勝を心からお祝い申し上げます。さて、昨年は教育委員会の推進事業に対しまして各方面からいろいろのご意見をいただきました。ご協力をいただき多大の成果を挙げたことに對しまして心からお礼を申し上げます。

学校におきましては、先ず学力の向上を第一に進めてまいりました。そのため各学校では、校内研修の充実に努め、大方の学校がその成果を納めたものと思っております。特に大原小学校では、地区研究指定校として研究公開をして好評を得ております。また、大原小と佐多町の辺塚小とは「海と山の交流学習」ということで、行ったり、来たりしてお互いの土地の特色を知り、交流を深めました。田代中では、県の緑化コンクールにおいて県知事賞に輝き、県学校



新年を迎えて
教育長 池田 一雄

環境緑化モデルスクールにも指定されました。また、昨年は町内全小中学校で集団宿泊学習を大隅少年自然の家で実施いたしました。子どもたちには、心に残るものがあつたと思います。

今日、国際社会とか、世界の中の日本とか言われますが、これから二十一世紀に生きていく子どもたちにとってこのことは非常に大事であると思ひます。郷土を知り、郷土で学び、郷土の発展に寄与できる子どもに育てることであり、このことがやがて国際社会の一員として育っていくことになると思ひます。

各学校ともPTAや地域の方々の学校に対して物心両面のご理解とご協力をいただいております。学校はガラス張りであり、町や地域の学校でありますので、ご要望やご意見を充分反映させて推進させて参ります。本年も引継ぎ德育の向上、学力の定着、郷土教育、集団宿泊学習など進めて参りたいと思ひます。

本県の平均寿命も男七四・〇九歳、女八〇・三四歳と伸びてきたと言われます。ますます高齢化が進んで参ります。

た。このような中で生きがいをもち、うるおいのある社会をつくるため、また、むらづくり、地域おこしが強く叫ばれ、これらを推進するために、も特に自治公民館活動の活性化が根底にあると思ひます。それぞれの小組合が一丸となつて、全員で知恵を出し合い、特色ある活動が推進されている地域が増えて参りました。これからも更に手を取り合つてこの活動の活発化をお願いいたします。

また、青少年の健全育成については各種機関、団体との連携やご協力により推進をいたしております。その成果もあがっております。しかし、今後さらに青少年自身の手による活動を推進しなければならぬと思ひます。特に月の第三土曜日を青少年健全育成の日として定着化を進めて参りたいと思ひます。地域ぐるみのご協力をお願いいたします。

なお、本年は郡民体育大会を田代町で開催することになっております。これを成功させるための準備や選手の強化にも皆様方の特段のご協力をお願いいたします。

本校の文化祭の日は、PTAのバザーで始まります。保護者の方々は、弁当持参で一日を、生徒が繰り広げる演劇や合唱、合奏、ダンス等を、熱心に見学なさるので、いきおい生徒たちも燃え、盛りあがることになりました。

今年のテーマは「自然」。学校展示物も、自然をあらわした「昔の住居」や「星座」等があり、ダンスも太平洋の波、日本海の波をかたどって表現された創作は、見ごたえがありました。

劇も、生徒たちの手でバック、小道具、衣装等が工夫創



『文化祭』

大原中学校

作され、一つのものをつくりあげる喜びを味わえるというねらいは、達成されたと思ひます。ただ欲を言えば、セリフをしっかり覚え、観客に向かつての演技力までに高まればと思ふことでしたが、それでも合格点をあげて良い演技者も何人かいます。何か新しい発見をしたような喜びも味わいました。

予行なしでの本番、何が出てくるかの不安は吹っ飛び、安心して観覧できました。よき思い出をつくることで、できて、よかったですね。

同和問題に正しい認識を



昭和62年主なできごと

- ◎鹿児島県立南大隅高等学校田代分校39年間の歴史に幕（3月3日 閉校式典実施）
- ◎鹿児島市たしろ会結成（1月25日約150名参加、会長に小牧剛他役員9名を選出）（鹿児島市たしろ会からも46名参加）
- ◎新しい議会の構成決まる。（議長に宮原貢氏、副議長に中原操氏）
- ◎新しい農業委員会の構成決まる。（会長に平石健二氏、副会長に川畑善志氏）
- ◎田代町に初めての新田トンネル起工式（完成時の延長 374 m）
- ◎田代町簡易水道工事起工式（岩崎、表木、池野、郷ノ原、新規加入）
- ◎田代町に企業誘致「株式会社日本グリーンナ」（本社：大阪）立地協定調印式実施される。
- ◎中原正美氏、町収入役に再任される。
- ◎原順氏逝去され、準町葬にて告別式を実施
- ◎田代町行政改革大綱決まる。

9月11日
5月8日
7月20日
10月22日
10月31日
3月6日
7月
12月6日
4月1日



鹿児島市たしろ会結成式



田代にも定着したからいも交流

- ◎田代町の宅地柿による「柿酢」、本格的に商品化はじまる。（62年中に8,500kg製造） 10月
- ◎昭和62年度、鹿児島県むら自慢産品求評会において、田代町花瀬「柿酢」が76.1点で第1位 9月7日
- ◎むらづくり一品推進等作物「柿」が初出荷される。
- ◎田代町に町外から体験農業ツアーの皆さんが訪れる。 4月12日、8月8～10日
- ◎農村地域農業構造改善事業自活型認定される。
- ◎鹿児島県畜産共進会において、若雌2部、育種高等登録群に出品し、最優勝を受賞 11月8日
- ◎長い歴史を持つ、根占家畜市場が閉鎖され、鹿屋家畜市場と合併し、新たに、肝属中央家畜市場が開設される。 11月
- ◎肝属郡畜産共進会において、田代町からの出陣牛が春、秋連続準優勝の好成績をあげる。10月

- ◎第6回からいも交流、3人の留学生来る。 3月17～30日
（ソパーバンボン・サトーンさん、アブドルワハブ・ザガリアさん、チョウ・カヨウさん）
- ◎第1回コグマ交流、韓国から2人の留学生来町。 7月14～25日
（ボク・ヨンクォウさん、ミン・ワングンクさん）
- ◎マレーシア駐日大使「ダト・カミール」夫妻が友好のため来町 3月29日



からいも交流記念植樹



「柿酢が本格的に商品化」

- ◎肝属南部開拓事業所開設（大根占町役場内） 3月16日
- ◎肝属南部土地改良区設立 10月20日 マレーシア大使夫妻による記念植樹
- ◎第1回鹿児島ふさと秋まつり大会において、田代町が奨励賞受賞 11月
- ◎田代町健康まつり大会開催される。（町特産品を利用した健康食品、健康体操、講演等・・・） 10月
- ◎湯ノ谷義雄氏、地方自治の功労により叙勲受賞（勲六等単光旭日章） 11月
- ◎故鈴十四郎氏に正六位（死亡叙勲）伝達 3月



むら自慢大会は大盛況でした



田代町にも大きなトンネルができます

この大会の趣旨は、広く町内の家庭婦人の間口スポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して婦人の健康な生活と体力の向上を図るとともに、地域婦人会員の親睦を深めるために実施された。各チームとも、よく練習を重ねて大会に望んだだけに、チームワークのよさ、ファインプレー等が目につきました。結果は次の通りです。



試合の様子

婦人ミニバレーボール大会で
Aクラス 原 沢 が優勝
Bクラス 西中郡 が優勝
第十三回婦人ミニバレーボール大会が、去る十一月二十九日(日)二十四チームが参加して、開催されました。

婦人ミニバレーボール大会で

Aクラス 原 沢 が優勝
Bクラス 西中郡 が優勝

◎Aクラス
一位 原沢婦人会
二位 平石婦人会
三位 上原・辺志切婦人会

◎Bクラス
一位 西中郡婦人会
二位 山下婦人会
三位 表木・橋ノ口婦人会



Bクラス優勝の西中郡婦人会さん



Aクラス優勝の原沢婦人会の皆さん

◎卒業生を送る会
午前9時～10時
◎ふるさと講演会
午前10時～11時30分
◎レクレーション
午前11時30分～12時30分

昭和六十三年度 開催予定日 昭和六十三年七月二十四日(日)
第26回肝属郡民体育大会(田代町開催)を成功させよう!



昭和六十三年一月二十三日までに町教育委員会へ、一日保険料一人百円を添えて申し込んでください。

★第六回町民体力づくり

マラソン大会

一月三十一日(日) 町民の健康づくり、体力づくりをねらって、第六回目のマラソン大会を実施します。

○日程 午前7時30分～8時15分

○受付 午前八時三十分～

○スタート 九時四十分

○コース

・中央運動場 岩崎方面折り返し

○種目(距離)

ア. 2km: 小三・四年男女

青少年ふるさと大会(冬季編)

高校生諸君

ふるって参加を!

学生会の会員として意識を高め、且つ卒業していく会員を激励すると共に、相互の連絡協調を図りながら地域に根ざし進んでふるさとづくりに寄与できる高校生を育てることを目的に実施されます。

町内に住む高校生会員の皆さんと町内の中学三年生の皆さんは、全員参加してください。

○期日 昭和63年1月5日(火)
○場所 町開発センター

★ファミリィバトミ大会

○期日 昭和63年1月10日(日)
○場所 大原中学校体育館

○競技方法

試合はダブルス戦のみとする。

○組み方は、次の通りとする。

△ファミリィの部▽

・親と子の組
・小学生の組

新春スポーツ行事案内

イ. 3km: 小五・六年男女

ウ. 5km: 中学男、高校男 30歳未満男

※一般30歳以上の男女はアウの距離を限定しない。

○参加申し込みについて

昭和六十三年一月二十三日までに町教育委員会へ、一日保険料一人百円を添えて申し込んでください。



盛会だった学習発表会

田代小学校



今まで練習してきたものを発表しました。
職員合唱、合奏も加わり、子供達の歓声もおこりました。ただ、時間が少々長びいてしまい、最後の六年生の劇発表の頃の父母の観客数が少なかったのが、ちょっぴりさびしいでした。それでも、真剣に取り組んでいた子供達の姿が印象に残ります。
全体的には、短い練習時間の中、まずまずの形で終了できたと思います。

おねえさんたちも、まぐがあくのまわっています。ぼくは、むねがどきどきしてききました。「かごめかごめ、かごの中のとりは、いついつでやる、よあけのぼんに。」
と、大きな声でうたいました。「ひとり、ふたり、三めのこ。」というところで、まぐがしずかにあきはじめました。ぼくは、もっと、むねがドキドキしました。おきやくさんが、いっぱいいていました。
「あっ、ぼくげえのおかあさんがきています。」
と、大きいこえでいったら、みんながわらいました。



平服で、気軽に
参加しましょう

本校では、学習発表会を十一月十九日、午後一時半から実施しました。今年は、ぶっつけ本番、一回の形で行いました。
幸い、当日は寒さもなく、天候に恵まれましたので、何より助かりました。一年生四十一名全員による、趣向をこらした元気よい「はじめの言葉」を皮切りに、合唱、合奏研究発表、そして、劇、リズム等と、各学年それぞれに、

「たのしかった学しゅう
はっぴようかい」
一年 あんらくしんや
むねにみんな白いはなをつけた。まぐが、ライトでとらされた。
いよいよ、まちにまつた学しゅうはっぴようかいのはじまりです。まぐのむこうにおかあさんがいます。おばあちゃんもいます。おにいさんや

あいさつは、れんしゅうしたように、大きなこえで、元気いっぱいだったので、たくさん、はくしゅをもらいました。一年生は、あいさつのほかに、「あれから、八か月」というはっぴようをしました。おぼえるところがたくさんあったけど、みんながんばっておぼえていました。
おかあさんは、はっぴようをきいているうちに、なみだが出て、とまらなかつたそうです。おばあちゃんも、ぼくをはやくみたくて、ないているおかあさんに、
「しんやは、どこけ。しんやは、どこけ」と、いったそうです。
「ねずみのよめいり」のうたもうたいました。ぼくは、かぜさんになりました。
「いいえ、いいえ、わたしよりつよいのは、ふいてもふいてもたおれないかべさんですよ。」
と、こうしろくんやりようちゃん、こえをあわせて
「ちゃんと、こえをあわせてげんきよくいました。」
かぜさんのかんむりをしていたので、ほんとにぼくが、かぜさんになったような気がしました。
「くろいマントのまほうつか

い」のゆうぎは、おかあさんがつくってくれた、ふろしきのマントを、ぼくが、色紙でいっぱいざり、つくりました。
「手をよく見ておどきなさい。」と、先生がおっしゃったので、レコードにあわせて、手に気をつけながらおどりました。おかあさんも、おばあちゃんも、
「とっても、じゃうずだったよ。」とほめてくれました。
おかあさんとおばあちゃんのはなしを、にこにこしてきいていたおとうさんからも、いっぱいほめられました。
とってもうれし、たのしい学しゅうはっぴようかいでした。
タコあげは電線のないところで九州電力からお願い
★タコあげは、電線のない広いところであげよう。
★タコを取ろうとして電柱にのぼったり、電線にかかったタコを竹ざおなどで取るのは大変危険です。またそのために停電してみなさんに大変迷惑をかけることがあります。
★もしタコが電線にかかったら、絶対自分でとらず、最寄りの九州電力大根占営業所(050)へご連絡ください。

健康だより

「禁煙のはなし」

禁煙をしたある人の場合。
この人は禁煙してから十年以上になる。

きっかけは特に理由があったわけではなく、ただなんとなく始めたのがいつかほんものになった。

「禁煙などたやすいこと、私は数十回禁煙した」と言うジョークがあるが実はそれに近い。

それでも禁煙が苦にならなくなるまでに、やはり三年以上かかったと思う。

それ以後も他人のたばこの煙をかぐと、いい匂いだなと感じていた。

ところが、禁煙十年目あたりからたばこの煙の刺激が強くなり、非常に不快に感じるようになってきた。

煙が見知らぬ他人から流れてくるならイヤなやつと思っていればよいが、親しい人のそれには全く当惑する。

当方も禁煙するまではヘビースモーカーで、周りへの配慮もあまりした覚えはないから、思わぬところで人に嫌われていたかも知れない。

11月に「第六回禁煙と健康世界会議」が東京で開かれた。

高令化社会、医療費のますますの増大、成人病（特にガンや心臓病の死亡者の増加）等が叫ばれる昨今、年々日本人の喫煙率は低下の傾向にあるが、これからその度を強めるものと考えられる。

そんな中においては、喫煙者のマナー、非喫煙者への対策がもっと要求されるようになるかも知れません。

禁煙を試してみようかと日頃思いをはせている方、今年こそは実行をしてみる価値がありそうです。

お知らせ

・B型肝炎テレホンサービス
電話番号 0992(25)ー6500

・エイズテレホンサービス
電話番号 0992(26)ー9999
0994(40)ー3000
0996(23)ー8111



※税金はみなさんの幸せのために使われています

一月の納税は、国民健康保険の第五期分です

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



「篤志寄附金」
田代町社会福祉協議会

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。

柴 立 イ ツ 様

川 路 ナ ミ 様

原 シ ゲ 子 様

